

上五島国家石油備蓄基地に入構するみなさんへ



はじめに

上五島国家石油備蓄基地は、大量の原油（危険物）を貯蔵する国の重要施設です。このため、入構にあたっては厳格なルールが定められており、入構者全員がこれを守らなければなりません。

このリーフレットは、基地の保安防災と入構者の安全を確保するために、基地へ入構する方々にあらかじめ確認・準備していただく事項をまとめたものです。

各項目をよく確認し、入構前にセルフチェック（□にし点）をお願いします。不明な点がありましたら担当者へ確認して下さい。

1. 駐車場・浮棧橋での注意事項

- 車で来られる方は、相河駐車場の浮棧橋近くの『商用エリア』をご利用下さい（詳しくは裏面を参照）。
- 入出庫の際は、指定された出入口から入場・出場して下さい。
- 駐車後は車両下部の地面を確認し、燃料油やオイル等の漏れがないことを確認して下さい。
- 通船を待つ間は、海中転落防止のため、護岸からむやみに海を覗き込まないで下さい。また浮棧橋では黄色い線から外側に立ち入らないで下さい。
- 相河駐車場、浮棧橋では、飲食・喫煙はできません。

2. 通船に乗船する際の注意事項

- 通船に乗船するためには事前の入構手続きが必要です。入構前日までに担当者へ所属、氏名、乗船希望時刻を連絡して下さい。なお、入構者数が多く定員をオーバーする場合は、担当者より乗船する便を指定することがあります。
- 通船は事前に連絡した便（又は当社が指定した便）以外は乗船できませんので、出航時刻に遅れないようにして下さい。出航時刻に遅れる場合は、担当者に連絡して下さい。
- 酒気帯び、酒酔い状態の方は乗船できません。
- 鞆やバッグ等の手回り品は、縦、横、高さの和が2m以下、重さ30kg以下のものを2個まで持ち込みできます。
- 手回り品の個数を超えるものや、基地に持ち込む必要のない携行品（スーツケースや旅行鞆等）は、相河通船待合所の無料コインロッカー（コインリターン式 100円硬貨が必要）に預けて下さい。また、携行品を取り出した後は、100円硬貨の取り忘れにご注意下さい。
- 通船は停泊中・航行中に波で不意に揺れますので、草履やサンダル、足の指が出たものやかかとのない（又は踏み潰した）履物、ヒールの高い履物等、体勢を維持できない恐れのある履物での乗船はできません。
- 乗客を乗せた通船にはガソリン、混合油、シンナーは積み込めません。基地の運航する危険物運搬船、もしくは自身がチャーターした運搬船でのみ運搬可能です。詳しくは担当者へ確認して下さい。
- 航行中の事故防止のため、通船の出航後は、基地に到着し船内放送で指示があるまで着席して下さい。立席の方は吊革・手摺につかまって下さい。航行中に具合が悪くなったりトイレに行きたくなった場合は、操舵室に移動して船員に声をかけて下さい。

～裏面も確認して下さい～

3. 基地構内での注意事項

- 基地構内の設備は、当社の許可を受けた場合、又は当社の社員が同行する場合を除き、立ち入りできません。
- 基地構内は火気厳禁です。たばこは指定された場所でのみ喫煙可能です。
- 基地構内では携帯電話やスマートフォン、デジタルカメラは指定された場所、又は許可を受けた場所でのみ使用可能です。詳しくは担当者へ確認して下さい。
- 海中転落防止のため、作業や点検、転落者の救助等の緊急時を除き、基地構内の護岸には近づくこと（海を覗き込むこと）はできません。また、作業や点検を行う場合は、ライフジャケットの着用が必要です。
- 基地内のコンセントから給電して電気機器を使用する場合は、あらかじめ当社の許可が必要です。詳しくは担当者へ確認して下さい。
- 夏場に入構される方は、前日に睡眠を十分にとる、食事を抜かない、こまめに水分補給をする等、熱中症の予防対策を行って下さい。
- 冬場のインフルエンザの流行時期には、入構者全員マスク着用が必須になりますので、各人持参して下さい。
- 具合が悪くなった場合は、すぐに担当者へ連絡して下さい。

4. 新規入構者教育を受講される方へ

- 担当者にあらかじめ教育の実施日時、場所を確認して下さい。なお、教育当日は管理棟1階裏玄関の掲示板に教育の開始時間、実施場所を掲示していますので、確認して下さい。
- 教育終了後に理解度テストを行いますので、鉛筆又はボールペンを持参して下さい。また、メガネが必要な方はメガネも忘れずに持参して下さい。
- テストには合格基準があります。合格基準に満たない場合は基地での就労は認められません。

